

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2016年4月22日）
運用方針	投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・米国トータル債券市場ETF 先進国債券 iシェアーズ 世界国債（除く米国）ETF 先進国債券 バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） 先進国債券 iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF 新興国債券 バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF 新興国債券 TOPIX 連動型上場投資信託 国内株式 iシェアーズ MSCI コクサイ ETF 先進国株式（除く日本） バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF 新興国株式 バンガード・リアル エステイト ETF グローバルリート バンガード・グローバル（除く米国）不動産 ETF グローバルリート
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資します。 ■市場のリスク選好状況を定量的に捉え、資産配分を調整することにより、下方リスクを抑制します。 ■債券の一部について、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回（原則として毎年4月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</p> </div>

三井住友・DC世界 バランスファンド （動的配分型） 【運用報告書（全体版）】

（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

第 **4** 期
決算日 2020年4月20日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金	騰 落 率		
(設 定 日) 2016年 4 月22日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 30
1 期 (2017年 4 月20日)	10,458	0	4.6	93.3	192
2 期 (2018年 4 月20日)	10,075	0	△3.7	98.2	781
3 期 (2019年 4 月22日)	10,107	0	0.3	97.8	1,259
4 期 (2020年 4 月20日)	9,243	0	△8.5	49.7	1,462

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

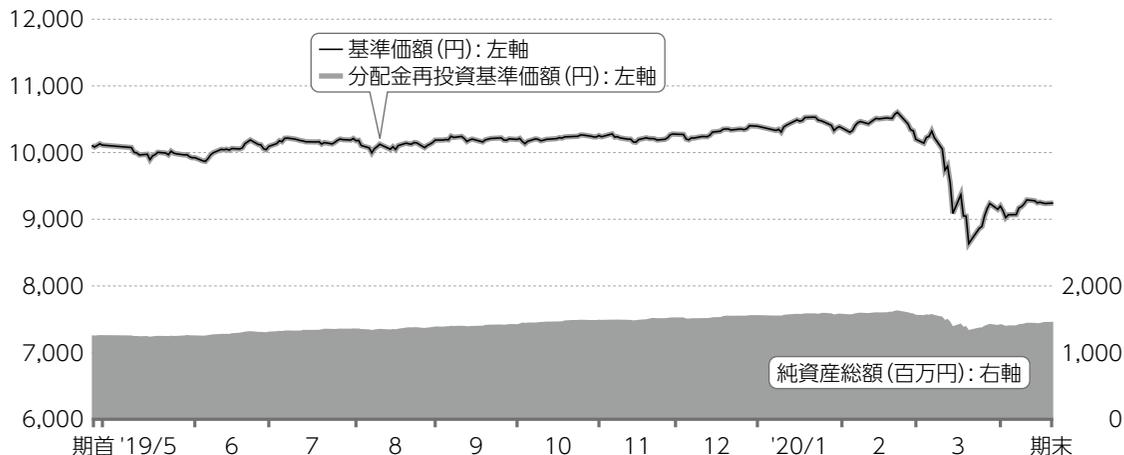
年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 率
	騰 落 率	率	
(期 首) 2019年 4 月22日	円 10,107	% —	% 97.8
4 月末	10,112	0.0	98.0
5 月末	9,924	△1.8	98.3
6 月末	10,093	△0.1	98.1
7 月末	10,178	0.7	98.9
8 月末	10,187	0.8	99.0
9 月末	10,197	0.9	87.4
10 月末	10,255	1.5	92.5
11 月末	10,276	1.7	94.3
12 月末	10,396	2.9	93.5
2020年 1 月末	10,370	2.6	96.3
2 月末	10,198	0.9	92.8
3 月末	9,197	△9.0	51.7
(期 末) 2020年 4 月20日	9,243	△8.5	49.7

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,107円
期末	9,243円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-8.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 先進国外国債券市場が上昇したこと

下落要因

- 国内株式、先進国外国株式市場が下落したこと
- 新興国株式、新興国債券市場が下落したこと
- グローバルリート市場が下落したこと
- 米ドル・ユーロが円に対してそれぞれ下落したこと

投資環境について（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

先進国外国株式市場・国内株式市場は共に下落しました。国内債券市場は小幅に下落する一方で、先進国外国債券市場は上昇しました。新興国は株式市場・債券市場共に下落しました。グローバルリート市場は大幅に下落しました。為替市場では、米ドル・ユーロが共に円に対して下落する展開となりました。

国内株式

国内株式は、先行きの企業業績に対する慎重な見方などを背景に、期初から上値の重い展開が続きました。6月から7月下旬にかけては、米国の利下げ期待の高まりなどを背景とした海外株式の上昇に連れて上昇基調で推移しましたが、円の上昇に伴う企業業績への懸念等が上値の抑制要因となりました。FRB（米連邦準備制度理事会）は7月末に約10年半ぶりとなる利下げを実施しました。8月に入り、米国が対中関税第4弾の導入を表明したことで、再び米中貿易摩擦の激化が懸念され、国内株式は下落しました。9月から2020年1月中旬にかけては、米中貿易交渉の進展など（12月には貿易協議の第一段階の合意が発表されました）を背景に、株価は上昇傾向で推移しました。その後、期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等から、株価は大幅に下落する展開となりました。

当期のTOPIX（東証株価指数、配当込み）は9.1%下落しました。

国内債券

日銀の金融緩和政策が続く中、米欧の債券利回りの低下に連れて、日本の長期債利回り（10年国債利回り）も期首から8月後半にかけては低下基調で推移しました。その後は、1月中旬まで、米中貿易協議の進展を受けた米欧債券利回りの上昇に押される形で、国内債券利回りも上昇基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等から債券利回りが低下しましたが、3月には世界的な金融市場の混乱を受けた現金化目的の売りが債券市場にも波及し、利回りが急上昇するなど、非常に値動きの荒い相場展開となりました。

当期の10年国債利回りは期首の-0.03%から期末は0.02%に小幅上昇しました。

先進国外国株式

先進国外国株式は、期首から概ねもみあい推移しました。5月には、米国が中国に対する追加関税の引上げを発表し、米中

貿易摩擦に対する警戒感が高まったことなどを背景に、株価が大幅に調整しました。6月から7月下旬にかけては、米国での金融緩和期待の高まり等から、米国を中心に先進国外国株式は底堅く推移しました。8月には、米国が中国に対する新たな制裁関税の賦課を発表したことで米中貿易摩擦に再度焦点が当たり、株価は大きく調整しました。8月下旬から1月中旬にかけては、米中貿易協議の進展などを背景に、株価は持ち直す動きになりました。その後、2月から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念等も背景に、株価は大幅に下落しました。期末にかけては、世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、反発する展開となりました。

当期のMSCIコクサイインデックス(配当込み、米ドルベース)は、4.4%下落しました。

先進国外国債券

米回国債利回りは、期を通してみれば低下しました。米中貿易摩擦に対する警戒感等から米回国債利回りは期初から8月後半にかけて低下基調で推移しました。9月から2020年1月中旬にかけては、米中貿易協議の進展を受けてリスク回避姿勢が後退し、債券利回りは小幅に上昇する展開となりました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や3月に入ってからF R

Bの緊急利下げ等を受け、債券利回りは低下する動きとなりました。

欧州では、英国のEU離脱を巡る迷走やイタリアの政治情勢を巡る混乱など欧州政治の不透明感などを背景に、ドイツの債券利回りは、期初から8月後半にかけて低下基調で推移しました。その後、1月中旬にかけては米中貿易協議の進展や、英のEU離脱にめどがついたことなどを受け、利回りが上昇する動きとなりました。その後は、3月中旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や米F R Bによる緊急利下げ等を背景に債券利回りが低下しました。期末にかけては、現金化目的の債券売りが強まり、利回りが急上昇するなど値動きの荒い展開となりました。

当期の米国10年国債利回りは期首2.56%から期末には0.61%に低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首0.03%から期末には-0.47%に低下しました。当期のFTSE世界国債インデックス(除く日本、米ドルベース)は7.7%の上昇となりました。

グローバルリート

グローバルリート市場は、世界的に金融緩和環境が続く中、期首から2020年1月まで、概ねグローバルに債券利回りが低下基調で推移したことや、相対的に利回りの高いリート市場への底堅い資金フローなどを背景に堅調に推移しました。2月以降は、

新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景に世界的に株価が下落するなどリスク回避的な動きが強まり、グローバルリート市場も大幅に下落しました。3月中旬以降は、世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、反発する展開となりました。

当期のS & P先進国REIT指数(米ドルベース)は、19.3%下落しました。

新興国株式

期首から9月後半にかけては、米中貿易摩擦や中国経済減速の新興国経済に対する影響などが懸念され、新興国株式市場は上値の重い相場が続きました。10月から2020年1月にかけては、米中貿易交渉の進展等を背景にグローバルに株価が上昇する展開となり、新興国株式も底堅く推移しました。2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景にリスク回避的な動きが強まり、新興国株式市場は大幅に下落しました。3月中旬以降は、先進国株式に連れて反発する展開となりました。

当期のMSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)は、17.5%下落しました。

新興国債券

期首から2020年2月にかけては、世界的

な低金利環境が続き、米中貿易交渉の進展等を背景にグローバルに株価が高どまるなか、リスク選好姿勢の高まりなどを背景に、新興国債券は底堅く推移しました。3月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感等を背景にリスク回避的な動きが強まり、新興国債券市場は大幅に下落しました。3月中旬以降は、新興国を含めた世界の主要国、中央銀行の政策対応を好感し、反発する展開となりました。

当期のJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(米ドルベース)は3.4%の下落となりました。

為替

米ドル・円は、期初以降、米中貿易摩擦に対する懸念や、FRBによる金融緩和観測の高まりなどが米ドルの上値抑制要因となり、8月後半にかけて、米ドルはじり安の展開となりました。その後は2月中旬まで、米国株価の上昇等を背景に、米ドルはじり高の展開となりました。その後は新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念やFRBによる緊急利下げの動きなどを背景に、米ドル・円相場は大幅に下落しました。3月中旬以降は、米ドル資金需要の高まりを背景に、米ドルが急上昇するなど、非常に値動きの荒い展開となりました。

ユーロ・円は、期初から英国のEU離脱

を巡る迷走やイタリアの政治情勢を巡る混乱など欧州政治の不透明感や欧州債券利回りの低下等がユーロの下押し材料となりました。10月以降は米中貿易協議の進展などを背景にユーロが上昇する展開になりました。2月以降から期末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大を受け、再びユーロ

が下落しました。

当期の米ドル・円は、期首111円99銭から期末107円89銭と4円10銭の米ドル安・円高となりました。また、当期のユーロ・円は、期首125円88銭から期末117円27銭と8円61銭のユーロ安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

●資産配分

当期の資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初は、市場は強気に傾いた局面との判断から、高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%の配分としました。

2019年1月以降、米国の金融緩和的な姿勢が鮮明となったことや景気動向や企業業績への過度の懸念が後退したことからリスク態度指数は上昇しましたが、2019年5月以降は米中貿易協議の難航や、企業業績への懸念から日欧で株価が伸び悩む一方、金

融緩和強化を受け債券価格は上昇を続けたことから、リスク態度指数は低下に向かう動きが見られました。その為、2019年8月上旬に市場のリスク選好が中立的な状態となったと判断し、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%の配分としました。

2019年8月下旬にかけ、米中関係の悪化を織り込み株式市場が揉み合いになるとリスク態度指数も底打ちの動きとなり、2019年9月に入ると米中交渉の進展もあり上昇に向かう動きとなりました。2019年10月下旬に、その動きが定着したことから、市場が強気に傾いたと判断し、高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%の配分としました。

その後も、英国の秩序なきEU離脱への懸念後退や、企業業績改善への期待からリスク態度指数は上昇基調を継続しましたが、2019年12月以降そのような動きが一巡する中でピークアウトから揉み合いの動きとな

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

り、2020年2月に入ると新型コロナウイルスの感染拡大への懸念から低下に向かいました。それを受け2月下旬に市場が弱気に傾きつつあると判断し、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%の配分としました。

2020年3月中旬以降、各国の政策対応を

受け株式市場が反発する中、リスク態度指数は下げ止まりの動きを見せていますが、基調としては下落方向との判断が継続していたため、4月中旬に、市場が弱気に傾いたとして、低変動ポートフォリオ100%の配分としました。

●組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	ベンチマーク	期末組入比率
バンガード・米国トータル債券市場ETF	先進国債券	ブルームバーグ・バークレイズ 米国総合浮動調整インデックス	11.0%
iシェアーズ 世界国債(除く米国)ETF	先進国債券	S&Pインターナショナル・ソブリン・ ボンド・インデックス(除く米国)	4.8%
バンガード・トータル・インターナショナル 債券ETF(米ドルヘッジあり)	先進国債券	ブルームバーグ・バークレイズ・ グローバル総合(米ドル除く) 浮動調整RIC基準インデックス (米ドルヘッジベース)	20.1%
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	新興国債券	J.P.モルガンEMBI グローバル・コア・インデックス	13.9%
バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF	新興国債券	ブルームバーグ・バークレイズ米ドル建て 新興市場政府債RIC基準インデックス	—%
TOPIX連動型上場投資信託	国内株式	TOPIX(東証株価指数)	—%
iシェアーズ MSCIコクサイETF	先進国株式 (除く日本)	MSCIコクサイ・インデックス	—%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	新興国株式	FTSEエマージング・マーケット・ オールキャップ(含む中国A株)インデックス	—%
バンガード・リアル エステイト ETF	グローバルリート等	MSCI US投資市場不動産 25/50インデックス	—%
バンガード・グローバル(除く米国)不動産ETF	グローバルリート等	S&Pグローバル(除く米国) 不動産インデックス	—%

ベンチマークとの差異について（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

（単位：円、1万円当たり、税引前）

項目	第4期
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	765

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は、2020年2月下旬以降急低下した後、3月中旬より下げ止まりの動きを見せていますが、現状、下落基調との判断を継続しています。その為、現状は市場が弱気に傾いたリスク・オフ(リスク回避)局面と判断しており、当面は、低変

動ポートフォリオ100%の資産配分を継続します。(2020年4月27日現在)

3 お知らせ

約款変更について

- 投資対象ファンドの名称が「バンガード・REIT ETF」から「バンガード・リアル エステイト ETF」に変更されることに伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

（適用日：2019年5月24日）

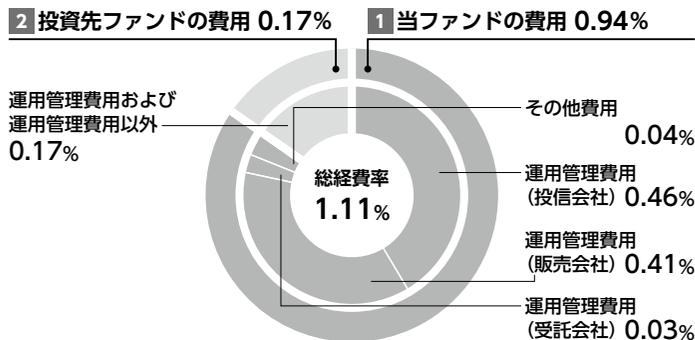
■ 1万口当たりの費用明細（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 （投 信 会 社） （販 売 会 社） （受 託 会 社）	91円 （ 46） （ 41） （ 3）	0.897% (0.459) (0.405) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （投 資 信 託 証 券）	37 （ 37）	0.362 (0.362)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （投 資 信 託 証 券）	1 （ 1）	0.005 (0.005)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 （保 管 費 用） （監 査 費 用） （そ の 他）	4 （ 3） （ 1） （ 0）	0.038 (0.030) (0.007) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回数・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	133	1.302	

期中の平均基準価額は10,115円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「組入れ投資信託証券の内容」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (1 + 2)	
1 当ファンドの費用の比率	0.94%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.17%

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

※1の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.11%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付		
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額	
国 内	TOPIX連動型上場投資信託	口	千円	口	千円	
		165,560	272,758	242,010	392,880	
合 計		165,560	272,758	242,010	392,880	
外 国	ア メ リ カ	口	千米ドル	口	千米ドル	
		ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	43,350	2,161	30,070	1,475
		ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	74,700	5,218	85,420	5,788
		ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	60,335	6,606	53,520	5,375
		VANGUARD TOTAL BOND MARKET ETF	34,595	2,920	62,605	5,197
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	80,355	4,607	62,050	3,518
		VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	39,235	2,269	53,115	2,850
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	70,310	3,058	82,690	3,409
	VANGUARD REAL ESTATE ETF	41,330	3,697	55,130	4,904	
小 計		444,210	30,539	484,600	32,518	

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等（2019年4月23日から2020年4月20日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人との取引状況B 百万円	B/A %	百万円	うち利害関係人との取引状況D 百万円	D/C %
投資信託証券	3,586	66	1.8	3,923	—	—

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	5,175千円
(b) うち利害関係人への支払額	50千円
(c) (b) / (a)	1.0%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年4月23日から2020年4月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2020年4月20日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首（前期末）		期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
TOPIX連動型上場投資信託	76,450	—	千円 —	% —
合 計	76,450	—	—	—

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期		末
	口数	口数	評価額		組入比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	—	13,280	652	70,378	4.8
ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	10,720	—	—	—	—
ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	12,000	18,815	1,878	202,690	13.9
VANGUARD TOTAL BOND MARKET ETF	45,011	17,001	1,488	160,605	11.0
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	29,533	47,838	2,720	293,519	20.1
VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	13,880	—	—	—	—
VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	12,380	—	—	—	—
VANGUARD REAL ESTATE ETF	13,800	—	—	—	—
合計	137,324	96,934	6,740	727,194	49.7

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2020年4月20日現在)

項目	期		末
	評価額	比率	
投資信託受益証券	千円		%
投資信託受益証券	727,194		49.2
コール・ローン等、その他	751,305		50.8
投資信託財産総額	1,478,499		100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年4月20日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2, 121, 242, 217円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	747, 556, 858
投資信託受益証券(評価額)	727, 194, 348
未 収 入 金	646, 491, 011
(B) 負 債	658, 961, 537
未 払 金	651, 376, 281
未 払 解 約 金	742, 535
未 払 信 託 報 酬	6, 784, 140
未 払 利 息	2, 107
そ の 他 未 払 費 用	56, 474
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1, 462, 280, 680
元 本	1, 581, 978, 225
次 期 繰 越 損 益 金	△ 119, 697, 545
(D) 受 益 権 総 口 数	1, 581, 978, 225口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9, 243円

※当期における期首元本額1,245,697,088円、期中追加設定元本額502,979,639円、期中一部解約元本額166,698,502円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年4月23日 至2020年4月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	40, 006, 997円
受 取 配 当 金	40, 103, 823
受 取 利 息	8, 994
支 払 利 息	△ 105, 820
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△160, 860, 890
売 買 益	163, 317, 140
売 買 損	△324, 178, 030
(C) 信 託 報 酬 等	△ 13, 286, 819
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△134, 140, 712
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 11, 269, 572
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	25, 712, 739
(配 当 等 相 当 額)	(76, 002, 982)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 50, 290, 243)
(G) 計 (D + E + F)	△119, 697, 545
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△119, 697, 545
追 加 信 託 差 損 益 金	25, 712, 739
(配 当 等 相 当 額)	(76, 002, 982)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 50, 290, 243)
分 配 準 備 積 立 金	45, 095, 909
繰 越 損 益 金	△190, 506, 193

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(26,720,178円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(76,002,982円)および分配準備積立金(18,375,731円)より分配可能額は121,098,891円(1万口当たり765円)ですが、分配は行っておりません。

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当	期

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

組入れ投資信託証券の内容（直近決算の情報）

ファンド名	バンガード・米国トータル債券市場ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	ブルームバーグ・バークレイズ米国総合浮動調整インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.035%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年12月31日）

	銘 柄 名	ク ー ボ ン	償 還 日	組 入 比 率
1	United States Treasury Note/Bond	2%	05/31/2024	0.4%
2	T 1 5/8 05/15/26	1.625%	05/15/2026	0.4%
3	United States Treasury Note/Bond	2.875%	08/15/2028	0.4%
4	United States Treasury Note/Bond	2.125%	05/15/2025	0.4%
5	United States Treasury Note/Bond	1.75%	05/31/2022	0.4%
6	United States Treasury Note/Bond	2.125%	03/31/2024	0.4%
7	United States Treasury Note/Bond	1.5%	11/30/2024	0.4%
8	United States Treasury Note/Bond	1.75%	02/28/2022	0.4%
9	United States Treasury Note/Bond	3.125%	11/15/2028	0.4%
10	Ginnie Mae	3%	01/01/2050	0.4%

■ 費用明細（2019年1月1日から2019年12月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.035%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ 世界国債（除く米国）ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	S & P インターナショナル・ソブリン・ボンド・インデックス（除く米国）（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.35%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年10月31日）

	銘柄名	種類	国	クーポン	償還日	比率
1	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	4.50%	2039/11/15	1.3%
2	IRELAND (REPUBLIC OF)	財務省証券	アイルランド	5.40%	2025/3/13	0.6%
3	AUSTRIA (REPUBLIC OF)	財務省証券	オーストリア	4.15%	2037/3/15	0.5%
4	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	5.65%	2024/2/15	0.5%
5	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	4.10%	2037/4/15	0.5%
6	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	4.95%	2023/10/25	0.5%
7	PORTUGAL (REPUBLIC OF)	財務省証券	ポルトガル	2.88%	2025/10/15	0.5%
8	DENMARK (KINGDOM OF)	財務省証券	デンマーク	0.50%	2027/11/15	0.5%
9	JAPAN (GOVERNMENT OF) 10YR #355	財務省証券	日本	0.10%	2029/6/20	0.4%
10	IRELAND (REPUBLIC OF) RegS	財務省証券	アイルランド	2.40%	2030/5/15	0.4%
全銘柄数			679銘柄			

■ 費用明細（2018年11月1日から2019年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.09%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年10月31日）

	銘 柄 名	ク ー ボ ン	償 還 日	組 入 比 率
1	French Republic Government Bond OAT	1.75%	05/25/2023	0.6%
2	Bundesobligation	0.00%	10/18/2024	0.6%
3	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	2.1%	07/15/2026	0.5%
4	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	2.45%	10/01/2023	0.5%
5	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	3.35%	03/01/2035	0.4%
6	French Republic Government Bond OAT	0.75%	11/25/2028	0.4%
7	Japan Government Five Year Bond	0.1%	06/20/2022	0.4%
8	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	2.05%	08/01/2027	0.4%
9	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	1.75%	07/01/2024	0.4%
10	French Republic Government Bond OAT	0.00%	03/25/2024	0.4%

■ 費用明細（2018年11月1日から2019年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.08%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.39%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位10銘柄（基準日：2019年10月31日）

	銘柄名	国	クーポン	償還日	比率
1	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	クウェート	3.5%	2027/3/20	0.9%
2	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	ウルグアイ	5.1%	2050/6/18	0.8%
3	RUSSIAN FEDERATION RegS	ロシア連邦	5.25%	2047/6/23	0.7%
4	QATAR (STATE OF) RegS	カタール	5.10%	2048/4/23	0.7%
5	QATAR (STATE OF) RegS	カタール	4.82%	2049/3/14	0.7%
6	COLOMBIA REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	コロンビア	5%	2045/6/15	0.7%
7	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	5.6%	2050/11/18	0.7%
8	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	8.75%	2033/11/21	0.7%
9	ABU DHABI (EMIRATE OF) RegS	アラブ首長国連邦	3.13%	2027/10/11	0.6%
10	UKRAINE REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	ウクライナ	7.4%	2032/9/25	0.6%
全銘柄数			475銘柄		

■ 費用明細（2018年11月1日から2019年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。